

2017年度業績一覧

宇都宮みのり

①著書・論文

- ・「近代日本における公立精神科病院の役割(1)―中宮病院1916-1928―」『社会福祉研究』第19巻, 愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科, pp. 1-11, 2017年11月
- ・「若手研究者支援事業について」『社会事業史研究』52, pp. 6-7, 2017年9月

大賀有記

①著書・論文

- ・「日本人の死生観とかなしみの概念との関係―在宅看取りの可能性のための文献的検討―」『社会福祉研究』第19巻, 愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科, pp. 13-18, 2017年11月
- ・「在宅看取り支援に関わる専門職サポートにおける文化的影響―カナダ・ケベック州モンリオール市 CLSC Rene-Cassin のホームケアチームの緩和ケア活動から―」(共著)『人間発達学研究』9号, pp. 19-41, 2018年3月

田川佳代子

①著書・論文

- ・「オランダの社会的ケアとアクティヴ・シティズンシップ」『社会福祉研究』第19巻, 愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科, pp. 19-32, 2017年11月

湯 海鵬

①著書・論文

- ・「色彩環境が身体運動能力に及ぼす影響―昼光色 LED と赤色 LED との比較―」『日本色彩学会誌』41-3, pp. 85-90, 2017年5月

②口頭発表

- ・“The Stability of the Lower Limbs During Stepping Motion”, XXVI Congress of the International Society of Biomechanics 2017 (ISB 2017). Brisbane

中尾友紀

①著書・論文

- ・聞き手『長尾立子〔全国社会福祉協議会名誉会長〕, 『炭谷茂〔元環境事務次官, 元厚生省社会・援護局長〕(菅沼隆(研究代表者)『厚生行政のオーラルヒスト

リー(平成28~30年度科学研究費補助金基盤研究(B報告書)』), 2017年4月

- ・「特別連載 厚生官僚オーラルヒストリー研究(第2回) 国民皆年金の形成」『週刊社会保障』No. 2943 (2017.10.9), 法研, pp. 50-55, 2017年10月
- ・「帝国日本が統治した地域および住民への政府管掌年金の適用」『社会事業史研究』第53号, 社会事業史学会, pp. 59-71, 2018年3月
- ・「第2章 国民皆年金の達成」菅沼隆・土田武史・岩永理恵・田中聡一郎編『戦後社会保障の証言』, 有斐閣, pp. 35-75, 2018年3月

②口頭発表

- ・「大学生の感覚に焦点を当てた年金教育一年金セミナー受講の体験と年金を学んだ大学生に向けたアンケートの分析から考える―」(共同:中尾ゼミ3年生9名)年金等情報発信委員会(年金総合研究所), 2017年11月27日
- ・「大学生の感覚に焦点を当てた年金教育一年金セミナー受講の体験と年金を学んだ大学生に向けたアンケートの分析から考える―」(共同:中尾ゼミ3年生9名)厚生労働省年金局, 2018年2月28日

中藤 淳

①著書・論文

- ・「若者の精神保健の動向とその対応(1)―労働環境について―」『愛知県立大学教育福祉学部論集』第66号, pp. 75-84, 2018年1月

②口頭発表

- ・「健康調査カードによる大学生の精神保健の分析(9)―進学との関係について―」(東洋大学), 日本心理臨床学会第36回大会, 2017年11月

野田博也

①著書・論文

- ・「貧困と過重債務―金融排除の視点からみた問題の諸相―」駒村康平編『貧困(福祉+α)』, pp. 143-153, 2018年2月
- ・「ファイナンシャル・ソーシャルワークの構想」『人間発達学研究』9号, pp. 139-146, 2018年3月
- ・“Social Welfare Programs and Money Management Support for Low-Income People in Japan”, *Bulletin of the Faculty of Education and Welfare*, Aichi Prefectural University, 66,

pp. 85-95, 2018年11月

- ・「政策対象としての発達障害—発達障害者支援法の形成経路に着目して—」『社会福祉研究』第19巻, 愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科, pp. 33-43, 2017年11月

②口頭発表

- ・「貧困・低所得世帯の家計管理に介入する社会福祉事業の特徴と課題」日本社会福祉学会 第65回秋季大会(首都大学東京), 2017年10月22日
- ・“Trends in the Practices of Japanese Social Welfare Programs Aimed at Promoting Better Money Management among Lower-Income People”, The Asian and Pacific Association for Social Work Education, China, 2017年9月28日

橋本 明

①著書・論文

- ・「日本の近代精神医療史研究からの精神科臨床へのフィードバック」『精神神経学雑誌』119(11), pp. 870-876, 2017年11月
- ・“Empire and Psychiatry: A Comparative Study on Mental Health Laws in the Former Japanese Colonies”, *Social Welfare Studies* (Department of Social Welfare, School of Education and Welfare, Aichi Prefectural University), 19, pp. 45-49, 2017年11月
- ・“Japanische Psychiater „zwischen“ den akademischen Zentren der Psychiatrie der westlichen Hemisphäre: Uchimura Yushi (1897-1980) und seine Zeitgenossen”, Thomas Müller (hrsg.): *Zentrum und Peripherie in der Geschichte der Psychiatrie: Regionale, nationale und internationale Perspektiven*, Franz Steiner Verlag, Stuttgart, S. 172-188, 2017年8月
- ・「帝國大學と精神病学と精神病患者—明治・大正期における精神病治療思想の系譜—」金森修編『明治・大正期の科学思想史』勁草書房, pp. 275-329, 2017年8月
- ・「精神病院へと収斂するもの, しないもの—近代日本の精神病患者施設の多様性と地域性を考える—」『精神医学史研究』21(1), pp. 36-42, 2017年6月
- ・“Regional, national, international: Aspekte der Psychiatrischen Familienpflege in historischer Perspektive, ca. 1890-1930” (Thomas Müller との共著), Thomas Müller et al. (hrsg.): *Psychiatrie in Oberschwaben: Die „Weissenau“ bei Ravensburg zwischen Versorgungsfunktion und universitärer Forschung*, Verlag Psychiatrie und Geschichte, Zwiefalten, S. 139-170, 2017年4月

②口頭発表

- ・「沖縄精神医療史研究の再検討—公文書にみる精神病患者」第21回日本精神医学史学会(自治医科大学), 2017年11月12日
- ・“Neither religion nor medicine: Knowledge from experience—a new dimension of treatment and care for mental patients in modern Japan”, “From Madness to Medicine in Japanese Culture” (conference sponsored by TOSHIBA International Foundation), University of Pittsburgh, Pittsburgh, USA, 2017年9月28日
- ・“Mental Health Law and Policy in the Former Japanese Colonies”, XXXVth International Congress on Law and Mental Health, Charles University, Prague, Czech Republic, 2017年7月14日
- ・“Medical and Social Approaches to Alcoholism in Post-WWII Japan”, International Research Symposium “Alcohol, Psychiatry and Society”, St Anne’s College, Oxford, UK, 2017年6月30日
- ・「教育講演 日本の近代精神医療史研究からの精神科臨床へのフィードバック」第113回日本精神神経学会学術総会(名古屋国際会議場), 2017年6月22日
- ・「台湾総督府文書にみる日本統治下台湾における精神病患者監護法および精神病院法の実施」第118回日本医史学会(京都大学), 2017年6月10日

松宮 朝

①著書・論文

- ・「地域コミュニティにおける排除と公共性」金子勇編著『計画化と公共性』ミネルヴァ書房, 2017年3月
- ・「集落支援員とIターン移住者の集落活動」『社会福祉研究』第19巻, 愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科, pp. 51-57, 2017年11月
- ・「Iターン移住者, 集落支援員による『協働』型集落活動」『年報村落社会研究』53, pp. 143-173, 2017年11月
- ・「地域コミュニティと排除をめぐる調査方法論」『人間発達学研究』9号, pp. 103-110, 2018年3月
- ・「大学連携におけるボランティア活動推進をめぐる課題—長久手市4大学学生ボランティア調査から—」(共著: 石井晴雄・川原千香子・小島祥美・中根多恵・笹山実希)『共生の文化研究』12, pp. 26-47, 2018年1月
- ・「健康長寿社会における農の活動の意義」『グリーン・エージ』45(2), pp. 18-21, 2018年2月

②口頭発表

- ・「東海社会学会10周年シンポジウム解題」東海社会学

会大会シンポジウム (名古屋大学), 2017年7月6日

年4月

山本かほり

①著書・論文

・「排外主義の中の朝鮮学校」『移民政策研究』9, pp. 38-57, 2017年5月

②口頭発表

・「朝鮮学校における祖国」(朝鮮語) 国際高麗学会 (オークランド大学, N.Z.), 2017年8月4日

吉川雅博

①著書・論文

・『障害者雇用における合理的配慮』朝日雅也・笹川俊雄・高橋賢司編, 第4章分担執筆「障害に対応した職場 7. 高次脳機能障害と失語症」中央経済社, 2017

渡邊かおり

①著書・論文

・「書評 高良麻子著 (2017) 『日本におけるソーシャルアクションの実践モデル: 「制度からの排除」への対処』」『社会福祉学』第58巻2号, 日本社会福祉学会, pp. 106-108, 2017年8月

・「文化活動から労働運動へ—天達忠雄の青年期の活動に焦点をあてて—」『愛知県立大学教育福祉学部論集』第66号, pp. 109-116, 2018年1月

②口頭発表

・「下関における天達忠雄の社会活動—1930年代前半の労働運動—」社会事業史学会第45回大会 (長野大学), 2017年5月13日